令和○年度○○事業（○○調査）

報告書概要

# 事業の背景

例：地球温暖化の影響が各地で深刻化しているが、その原因の一つとして化石燃料の使用が挙げられる。この問題を解決するためには、再生可能エネルギーの利用拡大が不可欠であり、日本でも導入が進められているところだが、政府として今後さらに効果的な政策策定を行うにあたり、現状の動向を評価し、再生可能エネルギーの種類や利用状況、市場規模、成長予測、障壁となる問題点等を明らかにすることが重要であるため本事業を実施した。

# 調査内容

例：本事業では、国内の再生可能エネルギー市場の現状と将来性を論じるにあたり必要な要素として、現在の国内市場規模、主要な再生可能エネルギーの種類とその利用状況、市場の成長予測、障壁となる問題点等について調査を行った。また、各種エネルギーについて、導入コスト、エネルギー供給の安定性、環境負荷、技術開発の進展状況なども詳細に調査することで導入可能性について評価した。

# 調査手法

例：海外の先進事例を参考に、国内市場がどのように発展していくかのシナリオを作成するため、公開データの分析、関連企業へのインタビュー及び専門家へのヒアリングを実施した。さらに、市場の成長予測については、複数のシナリオを作成した上で、それぞれのシナリオにおける市場規模、エネルギーミックス、CO2排出量などを評価した。

# 結果概要

## 例：現在の動向

例：現在、再生可能エネルギー市場は全般的に国内で成長を続けており、特に太陽光発電が主力となっているが、風力やバイオマスなど他の再生可能エネルギーの利用も増加している。また、・・・。

## 例：普及における課題

例：今後、政策の推進や技術の進歩により、再生可能エネルギー市場はさらに拡大すると予測される。ただし、電力系統の安定性やコスト問題など、解決すべき課題も存在しており、特に、・・・。

# 今後の方針

例：今年度の調査結果で明らかになった課題を解決するため、具体的なアクションプランの作成や関係者（民間企業や地方自治体等）との密接な協力が必要になると考えられます。具体的には、・・・。

# 本事業のキーワード

例：再生可能エネルギー、太陽光発電、風力発電、バイオマス、エネルギー市場予測、エネルギーミックス、CO2排出量、有識者ヒアリング